

### 点滴をしなくて！ 体を水浸しにして苦しませるから…

Iさん 89歳は 娘夫との3人暮らし。要介護5  
慢性腎不全や貧血等があり、急激に腎機能が低下し透析の対象  
となったため入院したが、病院での環境の変化や抑制されたこと  
により、認知症状が進んだ。点滴を自分で抜いてしまうなどの  
行為があり、病院側から「これでは透析はできない」と退院と  
なり、在宅療養となった。



食欲が低下し、水分も少ないことから 脱水にもなり、ほぼ寝たきり状態となっ  
てしまった。看護小規模多機能型居宅介護 ケアホーム希望の 利用が開始し、「訪問看  
護」と「訪問介護」が入り、自宅での点滴が開始されたが、自宅であることや抑制  
されることがなくなったことにより、点滴を自分で抜くこともなくなった。

その後、口から好きな物を食べていたが、「もういい…もういらぬ」等の拒否が  
多くなった。点滴をしていることで家族は安心しているものの胸腹部に浮腫みが増  
強し、体動時にゼイゼイと痰が絡み、呼吸困難が出現するようになった。

主治医と相談し、点滴を少しずつ減らし、最後は点滴を中止したことで痰の量も減  
り、1日中スヤスヤと苦痛なく寝られる時間が長くなった。

家族には、点滴を止めたことで腹水や胸水が減り、枯れるように逝くのが一番楽な  
ことを説明した。

家族も納得し、苦痛のないように看送れることを一番に願った。全く飲まず、食わ  
ずのとなってから 10日目に安らかに天国へと旅立って逝った。

最後の最後で、「苦しまないために」、「自然に逝かせてあげたい」と思ってい  
ても、いざ本人が 食べ物や水も受け付けなくなると 家族は動揺し、何もしてあげれ  
ないことに耐えられず「せめて点滴で水分と栄養補給をしてあげたい」と願う。

また医師も「何もしない訳にはいかないだろう」と、検査データとにらめっこを  
し、点滴を始めたりもする。点滴はたいした栄養にもならず、臓器も細胞も弱って  
いるので水分も取り込みにくくなり、血液中の水分が血管の外に出しやすくなる。  
だから、終末期に点滴を行うと体内が水浸しになってしまう。肺に水が貯まり、溺  
れる苦しみを味わうことになってしまう。という逆効果になる場合も多い。

人は誰でもいつかは 死 が訪れる。誰もが 苦痛のない 死 を送りたいと願うもので  
ある。自分はどうしたいか… 家族にはどうしてほしいか… 家族や自分の身近な  
人たちに色々と自分のことを話しておくことも大切である。

# 442年ぶりの天体ショー

## 皆既月食 + 天王星食



こんな綺麗な  
月が次はいつ見られ  
るんだろうか…?



令和4年11月8日 職員F撮影

## 運営推進会議 約 3年ぶりの 家族会 開催！



今月25日（金）に約 3年ぶりとなる利用者の家族や民生委員、地域包括の方々に集まっていただいたの家族会を開催することができました！

今年 4月に自宅で 101歳の 母を看送った息子さんが その当時の想いや 現在の心境を語ってくれました。

最期 母がどのように逝くのか 想像がつかなかったが、朝食を食べ、いつものようにソファーに座らせて休んでいると、眠るように静かに息を引き取っていた。「母が亡くなるというのは、こういうことなんだ」と。「介護については できるだけことはしたので 何の後悔もなく やり切った」と言う。

家族会は 皆で話し合うことで、分かり合える場として 重要な集まりである。また、現在までのコロナ感染の対策方法等についても話し合いました。参加家族からは 色々な話が聞いて良かった等の言葉が聞かれました。

次回は年明け 1月に開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



今月からお世話になって  
います。  
そして 今月は 誕生日で  
もあり 皆さんに お祝い  
してもらいました。  
美味しい手作りケーキに  
プレゼントありがとうございました！  
これからどうぞよろしく  
お願いします。

今月の誕生日会  
&  
新規利用者様の紹介

おめでとう  
ございます

今月  
近所にオープンした  
ハンバーガー屋にも 散歩で  
連れて行ってもらいました

